

歯科衛生士会に支援の要請

「歯科医療を守る国民運動推進本部」

平成22年2月25日

「歯科医療を守る国民運動推進本部」は2月25日（木）午後3時。横浜市中区住吉町神奈川県歯科保健総合センター内の神奈川県歯科衛生士会本部事務所を訪ね、日本歯科衛生士連盟理事長廣石マサ子氏、特定非営利活動法人神奈川県歯科衛生士会会長堀正子氏に歯科技工の海外委託活動支援を要請した。当本部からは脇本征男代表、同副代表佐藤明教、同代表補佐広報御崎勝雄の3名が出席した。

これに先立ち、神奈川県歯科技工業協同組合理事長土田康夫氏、及び社団法人神奈川県歯科技工士会会長伊集院正俊氏に訪問実現のお骨折りをいただいた。

面談は、まず脇本代表から、2月6日と13日にTBSテレビ放送「報道特集・中国製歯科技工物」の番組を皮切りに、海外委託問題の概要を説明し、当本部の長年の活動について要旨を説明した。それに続いて佐藤副代表が、神奈川県歯科技工業協同組合及び神奈川県歯科技工士会も全面支援している旨をお伝えした。御崎代表補佐からは、持参した各種資料の説明が行われた。最後に代表から署名用紙をお渡しし、会員皆様のご協力を願った。

これに対し、衛生士会からは内容がよく理解出来た、早速次回理事会に諮り前向きに取り組むとの、快いご返事をいただいたばかりでなく、我々の活動に対し、思いやりと労いの温かい声援をいただき、約1時間ほどで終了した。今回、衛生士会への支援要請訪問は初めてであり、これを機に、全国の衛生士会会員皆様方の活動の輪が広がる事を期待したい。

ご多忙の中、我々のために貴重な時間を設けて下さった衛生士会、又、ご足労いただいた土田理事長、伊集院会長に厚く御礼申し上げます。

